

歴史と文化を継承しながら
強い絆で結ばれたエリア



相原地区連合町内会

会長 平山 富士雄さん
会長代行 井上 正行さん
副会長 川端 登さん

加入に関するお問い合わせ 町田市町内会・自治会連合会 042-722-4262

The Machibito — Chikini Ikiru

東日本大震災から5年、阪神・淡路大震災から21年が経った。この2つの震災でクローズアップされるようになった町内会・自治会の存在。その後の調査で町内会・自治会が機能しているかどうかが救急や復旧に影響していたことも報告されている。勿論、古来から形成されてきたこのコミュニティが現代社会の中で様々な問題を抱えていることも事実だ。町田市町内会・自治会は全部で309団体、加入世帯率は約55%。市内を10地区に分け、町内会・自治会連合会という組織で束ねられている。今回は町田市の北西部に位置する相原地区連合町内会を紹介する。

東 西に長く、南北に短い相原。その東側と西側では全く気質も違い、また古くから伝わる伝統や文化を次世代へ繋ぐ意識が非常に高いエリアでもある。町内会、自治会の加入率は70%近く、市の平均55%を大きく上回っている。各町内会の班長による丁寧な案内の成果もあり、転入者の加入率も決して悪くない。

課 題は他の地域同様、後継者不足。加入率が高いが役員の手不足や子ども会の存続も顕在化している。平山会長をはじめ、井上会長代行、川端副会長は皆、以前から地域貢献の意識を持っていた。会社勤めをしている頃も可

きな盛り上がりを見せている。各町内会・自治会では特徴ある伝統行事を次世代に繋げる取り組みが積極的だ。来年400年祭を行う丸山獅子舞をはじめ、市の無形民俗文化財でもある大戸囃子のほか、中相原、陽田、坂下町会のお囃子や、大戸、中相原、下相原連合町会の山車が、世代を超えて大切に伝承されている。

能な限り地域の行事には参加し、退職した後は地域貢献するのが当たり前だと思っていました。と語るのは川端副会長だ。「今は生活スタイルも多様化して、地域との関わり方が昔とは異なってきています。そんな中で活動の担い手を確保するのは難しい。ただ、相原は町田の中でも古くから住んでいる人たちが多く、殆どが顔見知りです。東北の地震以降、「絆」という言葉が目玉され始めましたが、それよりもずっと前から「絆」で結ばれていた地域なんです。平山会長はそう語ると「フェスティバルがあれだけ盛大に開催できていることが地域としてまとまっていることの証だと思ふ。」と付け加えた。

相原地区連合町内会会長で都営武蔵岡自治会会長の平山富士雄さん

生まれも育ちも相原という副会長の川端登さん



中相原町会の会長も務める会長代行の井上正行さん



昨 年の2月に立ち上がった地区協議会の取り組みにも積極

的だ。ガラスフュージングを通じた交流事業の実施やハイカーの為の環境整備など、補助金の使途も地域の人がいきいきと暮らせるよう、協議を重ねて決定した。のどかな風景と絆の強い町、相原。町の素晴らしさを未来に繋げていくための活動は続けられていく。

A 法被ではなく、白い衣装で拍く丸山町会の迎え神楽

B 丸山町会の丸山獅子舞は町田市の無形民俗文化財でもある

C 相原中央公園で開催される相原ふれあいフェスティバル